

## 浜田まちづくりセンターの新たな取組

事業名

### お仕事体験「ハマダニア」

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果（◆）

浜田まちセンの管轄では“地域の繋がりが希薄な現状”があり、集まりなども減少している。その結果、大人と子どもの繋がりが少ないため核家族化が進んでいるのが課題。そこで、地域にいる素敵な大人たちと子どもたちが出会うことで、“将来の夢”や“楽しそうな大人の姿”を間近で感じ、人と繋がることの楽しさを感じてもらう。

- ◆自分たちの地域の良さ（資源や人材）を職場体験や交流で体験し、愛着が芽生える。
- ◆職場体験をすることで将来への選択肢が広がり地域で働く人材が増える（思い出・印象に残る）

D

事業の概要

令和3年11月27日（土）浜田まちづくりセンターで、浜田市内の小学校3・4年生対象に15名限定で行う。職場体験の講師として「TSデザイン」「サーファーズキッチン TERA」「浜田消防署」に協力依頼。各体験ブース内容は、家の骨組み体験・郷土料理のイカ飯づくり・消防車、救急車、起震車、簡易消火体験。小学生を3グループに分け、すべての体験が出来るよう順番に回す。他校との交流も兼ねていたので“グループ内の学年が被る工夫”や、ボランティアには仲間に入りづらい子どもへの声かけ、目配りなど“子どもたちの楽しい思い出になるように”を意識して活動を依頼。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

								○		
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

上記評価の理由

課題に対して結果がすぐに出るものではない。  
1回きりでなく今後継続して行っていく事で良い成果が見られると思い、期待も込めた自己評価とした。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

協力して下さる事業所を広げ、今回より多いブースを提供。企画に賛同、事業として浸透させることで理解者が増え、長期的に見て町全体の活性に繋げたい

→そのために、情報収集や日々の関係づくり、継続開催の為にPDCAを確実に行う。

